

事業計画書

事業名	「さいしょのいっぽ つながる笑顔」事業
実施場所	沼津市内の地区センター
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 平成31年4月1日～平成32年3月15日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

子育て期にもっとも孤立してしまうと言われている「産後すぐ0歳～就園前の親子」を対象に、年間を通じて毎月2回（全24回）、そこに行けば誰かと話せる、繋がれる、子育ての最初の一步を気軽に踏み出せるきっかけを提供する。

また、その後の子育ての土壌となる仲間づくりや、次の居場所が選択できる情報提供とそれらを繋ぐ交流支援を行う。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

核家族化に伴い、幼稚園などのコミュニティに属す前の0歳～就園前までの親子の孤立が、母親の産後うつに大きく影響するなど社会的問題となっている。

特に現代の子育てで求められているのは、行政支援で補いきれない母親同士の交流支援（ママ友づくり）や、先輩ママによる経験者・当事者目線のより身近な相談支援であるといわれている。

本事業では、まず、孤立した育児環境から一步踏み出すきっかけを与えること、そして母親の心理的安定・孤立感の解消の助けとなる「子育ての土壌となる居場所づくり、仲間づくりを提供すること」を目的に、初めての赤ちゃんとのお出かけ（最初の一步）が、これから子育てをしていくまちとのつながりや、笑顔の子育てにつながっていく事業にしたいと考える。

また、一つの団体で完結する事業ではなく、沼津市内の子育て応援団体と連携をとることによって、地域や対象など様々な特色を持つ支援の存在に対する認知を広めることも相互の目的とする。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
<p>【最初の一步を踏みだすきっかけの提供】</p>	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>年間を通じて毎月2回(全24回)そこに行けば誰かと話せる、繋がれる、赤ちゃんのためにお出かけをする「さいしょのいっぽ」の広場を提供する。</p> <p>成長の記録である手形や足形を取りながら、ファシリテーターと会話するきっかけを提供することで、その後の子育ての日々を後押しする仲間づくりや、自分にあった次の居場所を選択することができるようになる。また、ファシリテーターとの会話をカルテ化することにより、親子にとっての大切な記録になるだけでなく、子育て環境のニーズ等のリサーチにもつながる。</p> <p>また、親子同士の交流をつなぐためには、すでに子育てを満喫している親子の層とのふれあいも重要となるため、「さいしょのいっぽ」の広場では、ベビーマッサージやリトミックなどの場も設け、すでに情報網を持っている先輩ママ層の呼び込みとママ同士の交流支援も行う。</p> <p>日時： 毎月2回 計24回(4月～翌3月) 10:00～12:00</p> <p>場所： 沼津第三地区センター</p> <p>内容： ①手形足形記録と交流会、歩き出す前の月齢向け講座(ベビーマッサージなど講師招致・有料講座)：月1回 計12回</p> <p>②手形足形記録と交流会、歩き出した後の月齢向け講座(リトミックなど講師招致・有料講座)：月1回 計12回</p> <p>手形足形等、赤ちゃんの成長の記録は、日々の育児と向き合う子育ての中の喜びであり、一緒に喜んでくれる、日々の話を聞いてくれるファシリテーターとの関わりは、孤立した子育て環境に身を置く母親にとって新しい風となる。</p> <p>また、すでに一步先の月齢・年齢にいるママと関わることも重要な交流であるため、赤ちゃんのお出かけに慣れている層が興味を持つ講座を設定することで、多年齢・他月齢の居場所作りを目指す。</p> <p>さらに、単発の支援で終わらず、今後につながる交流支援を行うのが当事業で一番重視することであり、そのためにそれぞれの強みや特徴(双子、発達障害、外国人支援など)を持つ沼津市の子育て団体の運営者にもファシリテーターとして参加してもらい、気軽に悩みや不安を打ち明ける空間を共に提供する。</p> <p>この交流会にとどまらず、次に足を運びたい、頼りたいと思える居場所の情報につなげることを目的とする。</p> <p><人員配置></p> <p>①ベビマ講師1名・専門家(ベビーウェアリングコンシェルジュ)1名・交流支援ファシリテーター1名 計3名配置 ※その他子育て支援関係者の参加も任意で募る</p> <p>②リトミック講師1名・専門家(子育てインストラクター)1名・交流支援ファシリテーター1名 計3名配置 ※※その他子育て支援関係者の参加も任意で募る</p> <p>事務局：運営における 打合せ・資料作成・参加者募集・申込管理・参加者連絡・アンケート作成・集計等については事務局(1名)を設置</p> <p>事業期間中、1ヵ月に1回、参加者アンケートを元にスタッフ会議を行う。</p>

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>◆最初の一步を踏み出す親子の身近なサポーターとして、行政支援で補いきれない母親同士の交流支援（ママ友作り）や、先輩ママによる経験者・当事者目線の相談支援を行うことで、一番孤立しがちな0歳～就園前までの親子の心のケア、および仲間づくりに貢献できる。</p> <p>◆当団体のネットワークを生かし、沼津市近隣に存在する様々な特色や強みを持つ子育て団体・子育て支援関係者についての情報提供を行い、最初の一步のその後に繋げる自分に合った居場所の選択肢を広げることに寄与できる。</p> <p>◆行政支援（委託事業）からのバトンを民間（当事業）で受け取ることができる。</p> <p>◆厚生労働省から発表された「産前・産後サポート事業ガイドライン」のデイサービス（参加）集団型の事業（主に交流支援）に沿った事業としての実績となる。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ参加人数 240 組 480 名を目標とする ・事業満足度 80%以上 	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者管理をフォームにて行う ・参加者および子育て団体・子育て関係者へのアンケート実施

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性</p> <p>・</p> <p>必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>本事業は、今まで点と点として地域で活動していた子育て団体・子育て支援関係者等を線で繋げ、その支援力を不特定多数の親子にお届けすることができる。まち・人・子育てを結びつける事業である。</p> <p>現代、強く求められているのは、単発ではなく、長く継続的に繋がれる居場所である。</p> <p>行政支援では補いきれない交流支援（ママ友作り・仲間づくり）や、身近な先輩ママ、経験者としての相談支援を行うことで、子育て中の親子のニーズに大きく寄与できると考える。</p> <p>それぞれ強みと特色を持つ複数の子育て団体・子育て支援関係者等の協力を得ながら事業を行うことで、様々な環境（双子・転入・外国人・発達障害など）にある親子のケアが当事者目線で可能となる。</p> <p>それらが連携し、情報を提供することで『自由に自分に合った居場所を選択できる』ようになり、地域全体の子育て環境の向上、質の向上に貢献できる。</p>
--------------------------------	--

<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市で子育てをする母親を対象にした居場所に対するアンケートによると、「子育て支援センターは、すでにコミュニティができてしまっていて入って行きづらい」という声や、「子育て支援施設には、歩けるようにならないと行ったら危険」という固定観念も多くあり、どのような支援がほしかったですか？の問いに対し、「悩みや不安を共感しあえる仲間がほしかった」「先輩ママからの身近なアドバイスがほしかった」「ママ友が作れる場所がわからない」など、ハード面に加え、ソフト面の支援も求められていると感じた。また、沼津市近隣には、それぞれの強みと特色を持つ複数の子育て団体・子育て支援関係者等が存在しているものの、その活動は、それぞれ点としての活動となってしまうっており、様々な環境（双子・転入・外国人・発達障害など）の親子の支援には情報提供を含め、繋がっていないのが現状である。</p> <p>当事業では、仲間づくりや、次の居場所が選択できる情報提供と、それらを繋ぐ交流支援に力を入れ、本当の意味での長く継続した親子の支援、地域子育て支援活性化に繋げていきたい。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>当団体は、沼津市および沼津市近隣で活動する子育て団体や子育て支援関係者等を行政と繋いだり、継続が課題（メンバーの金銭的、労力的負担によって成り立つことが多いなど）でもある子育て団体の運営相談に乗ったりと、他市町村にはあまり存在しない中間支援的組織としての活動にもチャレンジしている。</p> <p>来年度、予算確定まで未定であるが、沼津市保健センターにて、産後すぐの母子に向けた当団体との事業委託の話が上がっており、行政支援（委託事業）から、民間（本事業）に繋ぐ仕組みがここで作られることにより、親子の「最初の一步」を切れ目なく支援できることが期待される。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>今回、当団体単独の事業とするのではなく、複数の子育て団体及び子育て支援関係者等が関わることによって、それぞれの発信力や、また子育て世代の口コミ力により、本事業は大きく広がっていくことと予想される。</p> <p>本事業は、自ら子育て支援団体等のコミュニティに足を踏み入れることを苦手とする親子が気軽に足を運ぶことができるきっかけの場「さいしょのいっぽ」の広場の提供と、その広場での親子同士の交流支援（ママ友づくり）、そして沼津市で活動を行う様々な子育て団体及び子育て支援関係者等の繋がりを提供することで、その後の育児環境が沼津のまちや人と繋がること、また、孤独な子育ての中で、ママ友や子育て団体及び子育て支援者等との交流が救いになった記憶が、また次の子育てに悩む親子への宝物として繋がっていくことが沼津市の子育て環境の向上につながると考える。</p> <p>事業の継続性については、公益性が高く、他団体との連携により沼津全体に広報をひろげられることから、企業のCSRにもつながる事業として企業も共に連携を図っていくことができるのではないかと考える。</p>

<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>孤立した子育てからの最初の一步を気軽に踏み出すきっかけを年間を通じて定期的に提供していく。</p> <p>居場所づくりとしては年間を通して、ファシリテーターや子育て団体及び子育て支援者等との連携により、無理なく質の良い事業を展開できる。</p> <p>そのため、本事業の目的でもある「沼津市の子育て環境の向上（居場所と選択肢の増加等）及び、子育て支援ネットワークの構築」と合致した取り組みとなる。</p> <p>予算についても、毎月開催する総事業回数が多い取り組みであり、きめ細やかな対応を目指すため支援を行うファシリテーターや講師に対する経費の割合が多くなるが、講師招致の講座部分を有料（参加費：500円）とし、事業収入を見込むことで自己資金を支え、かつ、来年度以降の継続も視野に入れ、企業協賛も当たっていききたいと考えている。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>本事業は、人と人との出会いを大切に繋げていく「一期一会のいちご」、当団体の活動理念にも繋がる事業であるため、丁寧にその目的を果たしていきたい。</p> <p>当団体代表自身も、たくさんの情報の中からも必要な情報が得られず、産後うつを経験している。活動から11年の中で培った当団体のネットワークを生かし、最も孤立しがちな0歳～就園前の親子の居場所と選択肢をつくり、公益的な交流支援を行うことが、今だからこそできると考えている。</p> <p>また当事業を通じた行政との連携が、沼津の子育て支援環境の向上、質の向上に繋がると考える。</p> <p>不安や悩みを抱える親子を孤立させないために、行政と民間で切れ目のない子育て支援の環境づくりを行うことが、「沼津の子育ては楽しい」と思える子育て支援力をアップさせることに繋がると信じている。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>産後すぐ～就園前までの「母子が一对一の密室環境に陥りやすい時期」の孤立を支える子育て団体や子育て支援者による「点」の支援は各地域で個々で行われているが、「そういう情報をどこで手に入れたらいいのかわからない」という母子の悩みが当団体活動時にも多く聞かれる。</p> <p>本事業を継続することにより、沼津で子育てを始めた母子が不安なく訪れることのできる場の提供と、そこからママ友や支援者との交流、また、母子と子育て団体等育児を支えるコミュニティとつなぐことは、それぞれの母子が必要とする支援や情報との出会いを提供することとなり、沼津市のより良い子育て環境の発展につながると考える。</p> <p>連携をとる子育て団体も、活動の始まりは自身の子育ての孤独を解消するものであり、子育ての毎日を喜びとしていく支えであった。本事業によって、子育てを経験した母子が次の母子の不安に共感し支えあう地域のネットワークが根付くことによって、参加者から子育て支援に関わる「新たな民間の力」がまれ、民間主体で行う「まちづくり活動」への指針力になる可能性も期待できるため、継続していきたい。</p>
